Vol. 01

NEWSLETTER

ニュースレター

2026 年
7月11日



和気町産業振興施設第１回ワークショップを開催しました。

町民の皆さまの声を計画に反映するために、第１回目のワークショップを開催しました。当日は、地域住民や農家の方、移住者、大学生・高校生、登山などのアウトドアを楽しむ方、町職員など幅広い世代・立場の方、**26 名**にご参加いただきました。

今回のワークショップでは、６人程度のグループに分かれ、**『施設の役割について考えよう！』**と題して、和気町の魅力・課題について考えるとともに、施設の役割や機能について、意見やアイデアを出し合っていただきました。

事業計画の概要

町では岩戸地域において、買い物支援や農産物直売所の設置、観光情報の発信、災害時の避難機能などを備えた**「産業振興施設」**の整備を計画しています。計画地は国道 374 号に隣接し、片鉄ロマン街道や天神山登山道、桜並木や吉井川の眺望、田土の棚田など、豊かな自然資源に恵まれた場所に位置しています。





開催概要

日時
令和８年７月１１日（土）
10：00 ～ 12：00

会場
和気町総合福祉センター
２階 大会議室

参加者
２６人

当日のスケジュール

- 開会のあいさつ
- ワークショップの趣旨、事業計画の説明
- 先進事例の紹介
- 棚田保全事例の紹介
- 他己紹介
- グループワーク
  「和気町の魅力や課題について考えよう」
  「施設の役割・機能を考えよう」
- 各グループ発表
- 閉会のあいさつ

当日の流れ

1 開会のあいさつ



和気町長からごあいさつをいただき、ワークショップの目的についてお話がありました。

2 ワークショップの趣旨、事業説明



計画地の特徴や旧佐伯町が抱える課題、基本構想段階で検討されてきた機能について説明がありました。（買物支援／農産物直売所／交流拠点等）

3 先進事例紹介



全国の事例をもとに、地域の魅力を生かした施設づくりのヒントについて紹介がありました。（フレキシブルな利用空間／アウトドアをテーマにした施設／地域課題解決に取り組むコンビニ／サイクルオアシス等）

4 棚田保全事例紹介



美作市上山の棚田保全の取り組みについて説明がありました。（上山棚田の稲株主制度／ランチ会による交流等）

いよいよグループに分かれてワーク開始！
その前に、お互いをよく知るためのアイスブレイクタイム

5 他己紹介



まず２人１組でお互いに自己紹介をし、次にペアの人のことをグループで紹介しました。初対面でも打ち解けることができました。

6 ワークパートA



「和気町の魅力と課題」について、それぞれ書き出し、グループで話し合いました。和気町のことを再発見する機会となりました。

7 ワークパートB



ワークパートAの内容をふまえ、「施設に求められる役割、必要な機能」について、意見を出し合いました。参加者それぞれの経験や視点から、数多くの魅力的なアイデアが生まれました。

8 発表



各グループで出たアイデアを代表者に発表していただきました。高校生のみなさんにも若者の視点から素晴らしい発表をしてもらいました。

9 閉会のあいさつ



和気副町長からごあいさつと、ワークショップに参加いただいたお礼の言葉がありました。

NEXT STEP

みなさんのご意見を反映した計画プランを検討していきます！

ワークの結果

GROUP A



豊かな自然や観光資源、充実した教育環境などの魅力と、買い物の不便さ、少子高齢化などの課題が挙がり、施設には地域の目玉となる特産物の販売や人が集まり交流する場所、おしゃれで楽しい雰囲気を望む声が多くありました。

ワークA「和気町の魅力や課題について考えよう！」

魅力

観光
- 自然が豊か
- 自然を身近に感じる暮らし
- 吉井川（水の恵み）
- サイクリングロード
- 旧片上鉄道
- 良い登山道がある
- 日本一の藤の花
- 歴史を感じる
- 天神山の利用

まち・人
- ご近所さんの顔が見える
- 駅がある
- 良い意味でコンパクトなまち

子育て
- 高校がある
- 塾
- 5km マラソン（授業）

課題

買物
- 買い物をする場所が少ない
- 旧佐伯町に商業施設が少ない
- コンビニが欲しい（なんでもある ATM, 郵便）
- ネットで買えないもの（肉、卵、野菜）
- これという特産物がない
- ファミレスが欲しい
- 御用聞きがいると良い
- 移動販売車にきて欲しい

インフラ
- 電車本数少ない
- 主要都市からのアクセス不便
- 遊べる場所

少子化
- 地区内が高齢者ばかりで不安
- 学校統廃合の問題

ワークB「施設の役割・機能を考えよう！」

役割・機能

食
- 農産物 特産物を販売する場所
- おしゃれ（フード）
- 棚田シェイク　棚田バーガー
- クラフトビール　藤の花ビール
- 弁当作り
- 厨房

バス
- バス停
- バスロータリー

サイクル
- サイクルオアシスの整備
- レンタサイクル（スタンド、空気入れ、給水）

買物
- コンビニ
- 日用品・食料品のお店

集
- イベント広場　定期的なイベント
- ビアガーデン（屋上、外庭）
- 人があつまる交流スペース
- 芝生
- チェアで読書、テレビ、昼寝
- 町民の趣味の展示・発表
- トラック市　日曜市（朝市）
- 集会所

広報
- 観光案内
- デジタルサイネージ活用

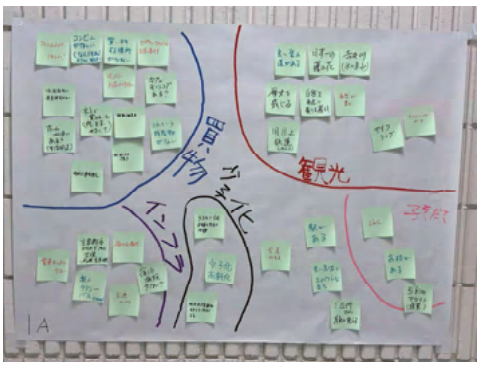
施設
- 印象に残る
- おしゃれ（外観）
- インスタ映え
- すべり台
- 変わったオブジェがある
- 豪華でキレイなトイレ

保
- 維持管理しやすい施設
- 経年で深まる魅力（木、木造イス、メッセージボード）

避難
- 災害時の避難救護　避難所

紹介は一部抜粋





ワークA



ワークB

ワークの結果

GROUP B



豊かな自然や温泉や歴史などの地域資源、和気町に暮らす人の魅力と、子どもの人数が減っていることや子どもの遊ぶ場所不足の課題が挙がり、施設には地域住民の交流の場や状況に応じて変化できる空間づくりを望む声が多くありました。

ワークA「和気町の魅力や課題について考えよう！」

魅力

自然
- 自然豊か
- 自然を楽しめる環境資源がある
- 自然を守っている
- 吉井川が豊か
- 登りやすい低山が多い
- 棚田　景色がきれい
- 藤の花

歴史
- 歴史がある
- 町として残っている

地域資源
- サイクリングなどスポーツしやすい
- 温泉、公園が楽しめる
- 都会では見れないものがたくさんある

人
- 人口が少ない分、人と人がつながりやすい
- 地域の人達が優しい
- 移住者が多い
- こどもが元気で過ごせる
- 若者もシニアもチャレンジできる

課題

人
- 子どもが少ない（減っている）
- 子どもが遊ぶ場が少ない

交通
- 電車の本数が少ない
- 移動するのに車が必要
- なかなか来れる機会がない

→情報発信が課題？

スポーツ
- 運動する場所が欲しい

ワークB「施設の役割・機能を考えよう！」

役割・機能

自然
- 和気の自然とつながっている
- 山と川を眺める場所
- 体験　また来たい

交流
- 地域住民の交流の場
- 地元の人が気軽に集まれる　滞在したくなる
- トライアル出店できる場所
- あげもらいスポット（家具・家電など）
- キッチンカー
- 移住者の方がコミュニケーション
- 休憩所

運動
- 川遊びの拠点（カヌー、カヤック）
- 運動するきっかけの場（サイクリング＋ランニング）
- コインシャワー　トイレ　駐車場

体験
- 農業体験の拠点

観光
- 観光案内　自然里山ガイド
- 片鉄を感じる
- 特産品が売っている
- 産直（野菜、米、ジビエ肉）

カフェ
- カフェが欲しい　値段は安く！
- セミセルフでもよいので美味しいコーヒーが飲める

エコ
- カーシェア
- 駅から行きやすい→自転車（車以外）
- 人も環境もめぐる　エコトイレなど

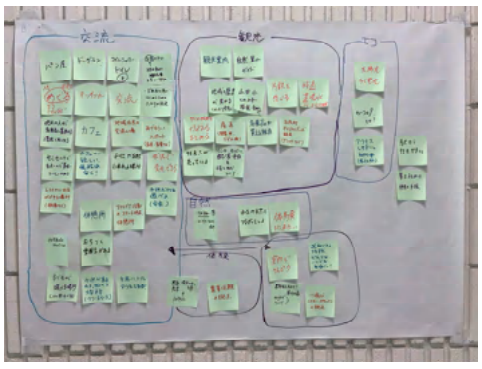
子ども
- 子どもが気軽に来れる場所
- 子どもだけでも遊べる（安全）
- 子どもが集まる遊べる場所（フリースペース）

紹介は一部抜粋





ワークA



ワークB

ワークの結果

GROUP C



豊かな自然や都市部からのアクセスの良さ、高校進学先としての魅力と、集まる場所・遊ぶ場所不足の課題が挙がり、施設には買い物支援やサイクル関連、貸しスペース、近隣大学との連携強化、若者の居場所機能を望む声が多くありました。

ワークA「和気町の魅力や課題について考えよう！」

魅力

地域資源
- 自然が豊か
- 観光資源が豊富
- 和気アルプス
- 天神山の利用
- 藤公園
- サイクルロード

交通
- 関西、岡山からのアクセスが良い
- JR の駅、高速 IC

イベント
- 魅力あるイベント

移住者
- 移住者の方が優しい

→盛り上げてくれる

教育
- 岡山東部の子どもが和気閑谷高校へ進学

課題

人・物
- 遊べる場所がほしい
- 人が集まれる場所がない
- 農産物を売りたい
- 買物が出来る店が無い

人口
- 人口減少
- 過疎
- 町外へ移る人も

移住者
- 移住者の定着が△
- 移住者が来たくなるまちへ

交通
- 交通インフラが弱い

ワークB「施設の役割・機能を考えよう！」

役割・機能

ビジネス
- 貸しテナント
- テストキッチン
- 食堂・喫茶店
- スモールビジネスができる場
- 事業者の貸しスペース

レジャー
- 川遊び
- つりぼり　好適環境水
- ミニ水族館
- 展望台
- シャワー設備とキャンプ場
- ドッグラン
- 音楽ステージと観覧場

サイクリング
- サイクルオアシス
- レンタルサイクル
- サイクリング客が必要とするもの（休憩、軽食、メンテナンス）
- サイクルの休憩できる場所
- サイクリングの拠点になるような施設
- エンタメ的な飲食店
- 観光案内所
- シャワー

集まる場所
- 若者の良いたまり場“サード・プレイス”
- 学生が集まる場所→どうやって集まるか
- 観光客と地域住人の交流の場
- 100 人集まる広場
- だがし屋

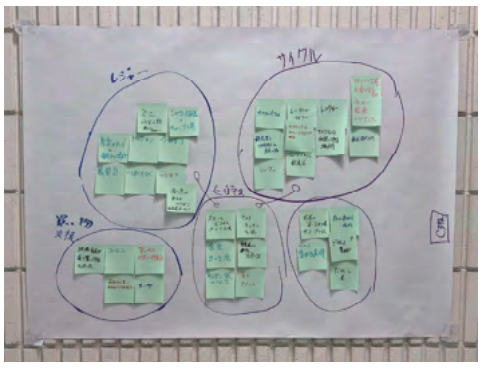
買い物支援
- コンビニ
- 買いもの　地域の特産品
- 地域住民が売り買いできるスペース

紹介は一部抜粋





ワークA



ワークB

ワークの結果

GROUP D



豊かな自然や美しい景色、アウトドア資源などの魅力と、遊ぶところの少なさや耕作放棄地など農業の課題が挙がり、施設には様々な利用をできるフリースペース、外国人観光客への PR、地域ブランディング、自然とのつながりを望む声が多くありました。

ワークA「和気町の魅力や課題について考えよう！」

魅 力

自然
- 自然が豊か
- 吉井川の景色は和気が1番
- 星がきれい（夜が暗い）
- 鳥の声にいやされる
- 息がしやすい

食・農
- 棚田がきれい
- 果物がおいしい
- 自給自足

アクティビティ
- アウトドア資源
- サイクリングロード
- 片鉄ロマン街道
- 登山　・キャンプ　・B&G
- 外国人に伝えてくれる PR
- 温泉

人
- 人が良い
- ゴールド都市にしていく

課 題

遊び
- 遊ぶところがない
- 自然以外の遊びがない
- 買物できる場所がほしい

人口
- 過疎化
- 高齢化
- 少子化

農業
- 耕作放棄地
- 草刈り作業
- 後継者不足
- 労働力を確保する
- 昔ながらの慣習
- 鳥獣害
- 米価下落

ワークB「施設の役割・機能を考えよう！」

役 割・機 能

ブランディング・ストーリーづくり
- まち全体のコンセプトを　駅前からつながるもの
- 自然を点ではなく面でつなげるストーリー作り
- オーガニックをテーマにした「テーマパーク」
- 無添加食材にこだわった商品ラインナップ

運営・商売
- ターゲット層を定める
- 施設の収益目標と売上目標を明確にする
- 毎月のイベント　テーマ別

交通
- 送迎バス
- 馬車で送迎　かぼちゃの馬車＆王子様

食
- 地元で採れたオーガニック食材でのカフェや弁当
- チャレンジキッチン
- シェアキッチンの機能
- 農作物などの売り場
- 自動販売機（食べ物）

フリースペース
- 地域住民の交流場
- 大学との連携
- 入りやすい開放的なマルシェ
- 誰でも借りれるスペース
- アクティビティの休憩所

旅行
- QR コード（海外の旅行客）
→スタンプラリー・景品集め
- ミニ美術館　和気町の観光スポットの紹介

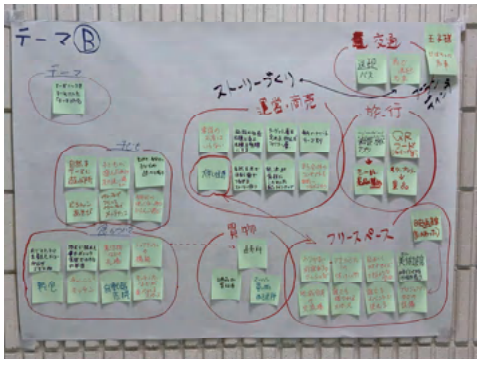
子ども
- 自然をテーマに遊ぶところ
- 夏休み・冬休みに子どもが遊べる場所
- 棚田の使っていないところで
どろんこ遊び→足洗い場

紹介は一部抜粋





ワークA



ワークB

意見まとめ

皆さまのご意見を尊重するために、可能な限り原文のまま掲載させていただいております。

和気町の魅力

自然
・自然が豊か
・自然が豊か
・自然が豊か
・自然が豊か
・自然が豊か
・自然豊か
・豊かな自然
・自然が多い
・自然がきれい
・自然を守っている
・自然を楽しめる環境、素材がある
・自然を身近に感じる暮らし
・景色がきれい
・景観が良い（佐伯）
・棚田がきれい
・棚田　景色がきれい
・環境がきれい
・息がしやすい
・空気が澄んでおり息がしやすい
・都市部に比べて気温が低く過ごしやすい
・星がきれい（夜が暗い）
・鳥の声にいやされる
・狩猟が出来る

川
・一級河川　吉井川
・吉井川が豊か
・吉井川（水の恵み）
・きれいな川がある
・川がきれい
・吉井川流域の景色は和気が一番
・吉井川と山々の景色

山
・和気アルプス
・和気富士から連なる山々からの景色
・良い登山道がある
・登りやすい低山がたくさんある
・天神山の利用

藤
・藤の花
・藤の花
・日本一の藤の花
・藤公園

アウトドア
・アウトドア資源
・登山
・環境がきれい　ハイキングをたのしめる
・キャンプ
・B&G
・B&G海洋センター

地域コミュニティ
・人が良い
・地域の人たちが優しい
・町民が優しい
・近所で顔が見える
・人口が少ない分、人と人とがつながりやすい
・行政が前向き
・チャレンジできる
・若者もシニアもチャレンジできる
・若者との交流

移住
・移住者が多い
・移住者が多い
・移住者の方が優しい・盛り上げている

子育て
・子どもが笑顔で過ごせる
・高校がある
・高校がある
・岡山東部の子どもが和気高へ進学
・無料で開かれた塾がある
・5kmマラソン（授業）

観光
・観光資源が豊富
・都会では見れないものがたくさんある
・温泉・公園が楽しめる
・温泉
・周辺の温泉が豊富
・外から遊びに来た人が良い所と言う
・WAKE ALPS
外国人に伝えてくれるPR

イベント
・魅力あるイベント・行事
・地域イベントが多い
・イベントが多い

サイクリング
・サイクリング
・サイクリング
・サイクリングロードがある
・サイクリングロード
・サイクルロード
・片鉄ロマン街道
・片鉄ロマン街道が町を縦断しており、サイクリングやジョギングが楽しめる
・サイクリングなどスポーツがしやすい

買物
・大手チェーン店がほぼない（良い事）
・一通りのお店はそろってる
・夜間の商業活動が少なく夜が静か
・佐伯町のコンビニはみんなよく使い、便利

飲食
・小さなカフェが多い
・ランチができる小さいお店が多く、どこもにぎわっている
・営業時間を短くのんびり営んでいる

農業
・農地が余っていて米や野菜を作りたい人が安く（または無料で）借りられる
・くだものがおいしい
・家庭菜園ができる（自給自足？）
・棚田
・自給率が高そう
・オーガニックビレッジ宣言をした

交通
・駅がある
・駅がある
・都市部からアクセスしやすい（JR和気駅・山陽道和気IC）
・都市部からアクセスが良い
・JR駅・高速IC・関西からも近い
・高速ICが近い

防災
・活断層がない
・災害に強い町

まちづくり
・良い意味でコンパクトなまち

歴史
・歴史がある
・歴史を感じる
・町として残っている
・史跡がある
・片鉄ロマン街道
・旧片上鉄道（せんろ）
・大国邸
・新田原井堰
・神社が多い

文化
・和太鼓が身近にある
・すもうが身近

和気町の課題

買物
・買い物する場所が少ない
・買物ができる店が無い
・買い物できる場所がほしい
・空き店舗が多い
・旧佐伯町に商業施設がない
・北口にお店が少ない
・スーパーが少ない
・ネットで買えないものが欲しい（肉・玉子・野菜？）
・コンビニがほしい（なんでも揃う、ATM・郵便）
・ホームセンターがある？（生活用品）
・御用ききに手伝ってほしい
・移動販売をしてほしい
・町内で通信販売をしてほしい

飲食
・ファミレスがほしい
・ピザ等の宅配がない
・カフェ・モーニングがある？
・マックもない
・ピザキングのようなお店を増やす

農業
・米価下落、農業経営が厳しい
・後継者不足
・農産物を売りたい
・人口減少・耕作放棄地
・耕作放棄地がどんどん増えている
・鳥獣害

交通
・交通インフラ
・交通インフラが弱い
・移動するのに車が必要
・主要都市からのアクセスが不便（岡山・兵庫方面）
・電車本数が少ない
・電車の本数が少ない
・無人タクシー・バスがあれば便利

人口
・過疎
・過疎化
・過疎化
・過疎化が進んでいる？
・人口減少
・少子化・高齢化
・少子化
・子どもが少ない（減っている）
・少子化で学校閉鎖や統合の問題
・高齢化
・高齢化
・地区内が高齢者ばかりで将来が不安
・町外へ移る人も
・空き家がある

地域コミュニティ
・地区内の活動参加者が不足
・人が集まれる場所がない
・地域イベントが多い（準備する側は大変）
・人との関係
・昔ながらの慣習
・閉鎖的なコミュニティ
・若者が合理的な提案をしても、受け入れられにくい事もある
・草刈り作業
・労働力を確保する

移住
・移住者の定着が△（やや弱い）
・移住者が来たくなるまちにしたい
・移住者が農村の人との関係を築くのが難しい場面もある

遊ぶ場所
・遊べる場所が少ない
・遊ぶところない
・あそべる場所がほしい
・自然以外に遊びがない
・子どもが遊ぶ場が少ない
・カラオケもない
・宿泊施設が少ない？

観光
・これといった特産物がない
・なかなか人が来れる機会がない、情報発信が課題

運動
・運動する場所が欲しい

施設に求められる役割、機能

買物
・買い物
・簡易的に買い物ができる施設
・日用品・食料品の店
・日用品が買える店
・買いたいものが買える
・買い忘れた物が買える
・すぐ買い物ができる
・できるだけ安い物
・コンビニ
・コンビニ
・スーパー　買い物　配送所
・自販機（弁当、冷凍食品、軽食）
・だがし屋

飲食
・食事処
・食堂・喫茶店
・カフェ
・カフェが欲しい、値段は安く！
・セミセルフでも良いので美味しいコーヒーが飲める
・おしゃれ（フード）
・ランチ、総菜、配食、弁当（子育て世代、シニア）
・軽食
・パン屋
・エンタメ的な飲食店
・ピアガーデン（屋上・外庭）

特産品販売
・特産品が売っている
・名産品が買える販売店
・買いもの　地域の特産品
・和気町オリジナルグッズ販売（Tシャツなど）
・クラフトビール醸造所（藤の花ビール？）
・棚田シェイク
・棚田バーガー

マルシェ・販売イベント
・キッチンカー
・キッチンカーなどが並べられるスペース
・トラック市・日曜市（朝市）
・週末マルシェ
・入りやすい開放的なマルシェなど（ENTER WAKEとの差別化）
・常設のお店はいらない
常設店舗は撤退リスクがあるため、マルシェ形式の方が持続可能
・地域住民が売り買いできるスペース
・あげもらいスポット（家具・家電など）

チャレンジ支援
・シェアキッチンの機能
・キッチン貸しスペース
・テストキッチン
・チャレンジキッチン（食品衛生法の基準を満たした設備）
・厨房
・弁当作り
・トライアルができる場所（飲食など）
・スモールビジネスができる場

貸しスペース
・誰でも借りれるスペース
・誰でもイベントで使える
・貸しテナント
・事業者の貸しスペース
・多くの機能を兼ねる、まとめる
・自由にカスタマイズできるような空間
・状況で変化できる
・学生が教育・研究活動を行える場
・プロジェクターなどの設備

イベント
・定期的なイベント
・イベント広場
・100人集まる広場
・毎月のイベントテーマ別
・音楽ステージと観覧場所

農業
・農産物・特産物販売所
・産直（野菜、米、ジビエ肉）
・直売所
・農作物などの売場
・農業体験の拠点
・農家、農業の講習を受ける場

体験
・体験（また来たい）
・ドッグラン
・ドッグラン
・ミニ水族館
・好適環境水（釣り、ふるさと納税）
・ドローン体験ができる広場
・足湯
・映画館（昔はあった）

運動
・屋内で運動
・運動ができる場所（誰でも、いつでも、自由に！）
・運動するきっかけ、集まりの場所（サイクリング、ランニング）

自然体験
・自然をテーマにした遊ぶ所
・遊具でなく、自然の川などに直接触れられる体験（わけまろパークとの差別化）
・和気の自然とつながっている
・川がきれい、山、川をながめる場所
・川遊び（カヌー、カヤック）の拠点
・川あそび
・つりぼり
・つりぼり
・海の魚が釣れるつりぼり（好適環境水）
・どろんこあそび
・子どもが遊んだ後の足洗い場
・棚田の使ってない所でどろんこ遊び
・芝生
・展望台

アウトドア
・休憩所
・アウトドア活動の休憩所
・アクティビティの休憩所
・アウトドア活動のスタート地点、休憩所
・シャワー設備とキャンプ場

サイクリング
・サイクルオアシス
・サイクルオアシスの整備（スタンド、空気入れ、給水）
・レンタサイクル
・レンタルサイクル（サイクリングの拠点になるような施設）
・サイクルの休憩できる場所
・コインシャワー、トイレ
・シャワー
・サイクリング客が必要とするもの（休憩・軽食・メンテナンス）

観光
・観光案内
・観光案内
・観光案内所
・和気町内の他の地域の魅力が知れる
・自然・里山ガイド
・地域の歴史が見れる（分かりやすく）
・和気ガイドアプリ
・QRコード（海外の旅行客）
・シール・景品集め
・スタンプラリー　景品
・アプリで観光客のデータ分析
・英語対応サイト
・デジタルサイネージ
・誰でもサイネージで情報発信
・ミニ美術館　和気で行ってみるべき場所提供
・フリーWi-Fiスポット

地域コミュニティ
・交流
・人が集まる交流スペース
・交流できる部屋・スペース
・地域住民の交流の場
・地域住民の交流場
・観光客と地域住人の交流の場
・地元の人が気軽に集まれる、滞在したくなる
・誰かと何かを始めるためのきっかけの施設
・移住者の方がコミュニケーション
・若者の“良いたまり場”
”サード・プレイス
・学生が集まる場所
・集会所
・町民の作品展示・発表
・チェアで読書（〇〇文庫）
・テレビ
・ひるね
・どうすれば集まるか

子育て
・子どもが楽しめる場
・子どもが気軽に来れる場所
・子どもが遊べる場所（山田小でも）
・子どもが集まる、遊べる場所（フリースペース）
・子どもだけで遊べる（安全）
・春休み・夏休み子どもが遊べる場所
・すべり台
・子どもが少ないので子育ての情報
・山田小との上手い接点、すみわけ

交通
・バス停（公共交通）
・バスロータリー
・バス中継所　バス待合所
・送迎バス
・集まるための移動手段
・カーシェア
・レンタカー
・アクセスしやすい　自転車（車以外）
・駅から行きやすい
・馬で送迎　馬車（地域の目玉・新たな観光資源）
・道路との連携（アプローチからデザインしていく）

環境
・人も環境もめぐる（エコトイレなど）
・太陽光、蓄電池

トイレ
・1億円トイレ
・トイレ数（男＜女）
・きれいなトイレ（特に女性向け）
・ユニバーサルデザイン
・英語・中国語表記
・手洗い、トイレ　アクセス自由！

経営
・施設の収益目標と売上目標を明確にする
・ターゲット層を定める。例えばファミリー層
・絞り込まないと人は来ない（商売の鉄則）
・大学との連携
・ゴールド都市にしていく
・60～80代の元気な高齢移住者をターゲットにし、地域経済を豊かにする

ブランディング
・おしゃれな外観
・明るい場所
・誰でも行きやすい雰囲気
・落ち着く雰囲気がある
・印象に残る施設
・インスタ映え
・まち全体のコンセプトを駅前～つながるもの
・自然を点ではなく面でつなぐストーリー作り
・既存の施設を点ではなく面でつなぐストーリー作り
・まち全体のコンセプトをつながるもの
・オーガニックをテーマにした「テーマパーク」
・無添加食材にこだわった高品質ラインナップ
・売店は単なるコンビニではなく、無添加食材にこだわった商品ラインナップに絞り込みブランディング（オーガニックビレッジ宣言）
・月ごとにテーマを変えたメニュー（例えばジビエ等）
・地元で採れた食材オーガニック食材でのカフェや弁当
・片鉄を感じる
・変わったオブジェがある
・かぼちゃの馬車・王子様（移動手段としてシンデレラモチーフの演出、地域の目玉・新たな観光資源）

管理
・維持管理しやすい施設
・経年で深まる魅力（木、木造イス、メッセージボード）
・みんなでつくってみんなでメンテナンス
・芝張りワークショップ
・みんなで作り上げた広場にまた集まろう、ストーリー性のある場づくり

防災
・災害時に利用できる施設（避難救助、食料備蓄等）
・防災機能（危険予知）
・避難所（現在は小学校）

全部で379個もの貴重なご意見をいただきました！
内訳 ： 魅力･･･114個、 課題･･･67個、施設の役割、機能･･･198個

おわりに・・・

初回のワークショップお疲れさまでした。多くの方々にご参加いただき感謝申し上げます。慣れない作業で難しく感じられる部分もあったかもしれませんが、さまざまな立場や視点からの意見やアイデアを話し合う時間は、きっと有意義で楽しい時間だったのではないでしょうか。貴重なご意見の数々をありがとうございました。
皆さまからいただいたご意見やアイデアを、産業振興施設の設計及び和気町全体のまちづくりに反映させていただき、よりよい計画づくりに取り組んでまいります。次回もどうぞよろしくお願いいたします。






次回ワークショップのご案内

次回第２回は、今回の意見を反映させた計画プランをお披露目します。空間のイメージを共有しながら、さらなるアイデアを付加し、施設の使われ方や運営、建築の空間、訪れた人の活動について、検討を進めていくワークショップです。

Step2

・テーマ：「空間をイメージしよう、
運営・広報について考えよう！」

・日時：８月２９日（土）
・会場：和気町総合福祉センター
２階 大会議室

1. Step1のふりかえり
2. 計画地の現況の説明
Step1 をふまえた導入施設案の説明
3. ワークショップ
「ワークパート A：施設案を見て、意見を出し合おう」
「ワークパート B：来訪者や事業運営者に向けて、
施設をアピールするメッセージを書こう」

主催・問い合わせ先：和気町産業振興課　TEL:0869-93-1126　〒709-0495　岡山県和気町尺所 555